



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口

世帯数 2,923 (-6)

人口 6,581人(-12)

(6月1日現在)

(カッコ内は5月1日比)

城北まちづくり計画完成



城北コミュニティまちづくり計画冊子

○福祉や健康づくりの推進

○文化や生活の充実

などについて、今後の具体的な取り組みを示し、地区の人々が共に考え、力を合わせて、まちづくりを進めようと提言しています。

この実行プラン冊子は、城北コミュニティセンターや各自治会長宅に配布されているのでぜひ、ご覧ください。東

日本大震災以来、地域の絆の大切さに改めて気付かされました。このプランをもとに多

10月9日開催

第15回ほくほくふれあい
ふれあいまつり

「第15回ほくほくふれあいまつり」(ほくほくまつり実行委員会主催)は10月9日(日)午前9時から城北小学校で開きます。

今回も来場者に楽しんでもらえるよう企画に趣向をこらします。

事業の効率化めざす

城北コミュニティ
総会開く

城北コミュニティ「明倫の里 城北」(細谷達則会長)では5月15日午後1時から城北コミュニティセンターで平成23年度総会を開きました。すでに新年度の事業は一部始まっていますが、総会後に本格始動しました。

総会には代議員83人が出席。細谷会長が「先の東日本大震災の教訓として、地域の結びつきの大切さを一層感じまし

くの人々が地区の活動に参加し、ふれあいが深まることを願っています。

「とあいさつ。新井市長が来賓を代表して祝辞を述べました。

この後、議事に入り平成22年度事業報告、決算報告(収入・310万3000円、支出・261万2000円、次年度繰り越し49万円)、さらに平成23年度事業計画、収支予算(302万2000円)が承認されました。また、会則の一部変更も承認されました。事業費は大半の部会が減額予算となっており、一層効率的な運用が求められています。

会計の横山俊男さん(御供所町)から退任届けが出され、後任に林紘史さん(葭町)が選ばれました。

このほか、城北地区担当の保健師から健康講話が行われました。

コミュニティは自治会をはじめ地域の各種団体が協力して運営に当たっています。(3面に23年度事業計画を掲載)



新年度の事業計画などを決めた総会

城北コミュニティの将来のまちづくりを考える実行プランが完成、冊子になりました。コミュニティの細谷会長を中心に、各部会や団体の代表者、学識経験者などが話し合い、人々の思いをまとめ作成しました。

第一章は、地区の概要と歴史を写真や地図、グラフ等で分かり易く説明しています。第二章は各部会の活動の現状や課題を洗い出し、

○ふれあいと自治活動の充実

○安全安心のまちの協創

城北コミュニティ環境部
 会が今年度の瀬戸内海放送
 環境美化振興財団の環境美
 化大賞に
 選ばれ、
 6月6日、高松市の瀬戸内
 海放送で賞状と助成金など
 を受けました。

環境美化大賞受ける

環境部会
 環境部会は防犯・防災・
 環境美化を活動の三本柱に
 掲げ、「緑のカーテン」の
 普及、土
 器川や東
 汐入川緑道公園の清掃など
 様々な事業に取り組んでい
 る点が評価されました。



いつまでも若々しくしゃんと体操

しゃんと体操



年齢を重ねるとも
 もに心身機能の低下
 を感じている人や元
 気であるための健康
 教室「しゃんと体操」
 が5月から始まりま
 した。これから毎月
 第1火曜日午後1時
 30分から城北コミュ
 ニティセンターで開
 かれます。

モンゴルの 草原に思い

「馬頭琴演奏とお話」盛会

「馬頭琴の演奏とお話会」
 (写真)が6月25日城北コミュ
 ニティセンターで開かれま
 した。

中国内モンゴル自治区出身
 で馬頭琴一級演奏家のリポー
 さんが「万馬のとどろき」「ガ



タ・メーリン」などのモンゴ
 ル民謡のほか、叙事曲「スー
 ホの白い馬」を山元哉司子さ

パトロール隊と児童が対面式

城北防犯パトロール隊と城
 北小全校児童との対面式が4
 月13日、同小運動場で開かれ
 ました。

新一年生が上級生と初めて
 一緒に下校する日で、式には
 隊員60人のほか、丸亀警察署
 や丸亀市、少年育成センター
 の担当者も出席。パトロール
 隊の細谷隊長が児童代表に、
 「子ども安全マニュアル」の

整理体操などを続けました。
 事前にしゃんと体操の指導
 を受けていた城北婦人会の鈴
 木会長ら3人がサポートに当
 たりました。



児童の下校を見守る城北パトロール隊

東日本大震災義援金

城北コミュニティに5月31
 日までに寄せられた東日本大
 震災義援金は34万2647円
 になりました。義援金は市社
 会福祉協議会に届けました。
 ご協力ありがとうございました。

日赤募金のお礼

日赤社資募集では148
 万5600円集まりました。
 自治会並びに婦人会の方々
 に厚くお礼申し上げます。
 (城北婦人会長)

第20回いきいき講座のご案内

日時 9月30日(金)
 13時30分～15時
 場所 城北コミュニティセ
 ンター講座室
 内容 断り上手は 生き方
 上手 くりアルに学
 ぼう！お断りトク
 く(悪徳商法の断り
 方の模擬練習)
 講師 消費生活指導員
 杉山明子さん

福祉ママ新体制

城北地区福祉ママ会議の
 新体制が次の通り決まりま
 した。(かつこ内は担当地区)
 会長 武上サチ子(風袋町)
 副会長 宮川寿美(土居町3丁
 目) 新任 金丸正子(城東町
 1丁目) 島芳枝(御供所町2
 丁目) 角田正知子(富士見町
 2・5丁目) 福崎明美(葭町)
 渡辺三重子(土居町1丁目)

にこにこウォーク



復元された入浜式塩田を前に塩づくりの説明を聞くウォーキング参加者

城北コミュニティでは「にこにこウォーク」を6月5日に行いました。58人が参加。午前9時30分に「金子広場」を出発しました。絶好のウォ

目的地の宇多津臨海公園では300年の歴史を誇る「塩づくり」の説明を係員から受けることができました。ここには江戸時代初期に開発され

た入浜式塩田が復元されています。未来に伝えていきたい歴史の歴史「塩づくり」を見て学んで先人の知恵にふれることができました。お昼には

1キング日和に恵まれ、約3キロの行程を約1時間かけて完歩。

「おむすび弁当」をおいしく頂きました。足取り軽く全員無事に帰着。(体育部会)

絵画鑑賞ふれあいウォーク

5月31日城北幼稚園園児52人と婦人会を中心に声かけ、賛同参加してくれた15人で手をつないで猪熊美術館まで歩きました。年長児が年少児の手をつないで危なくないように気を配りながら歩きました。「杉本博司アートの起源」

●室内ベタンク大会

日時 7月24日(日)
午前9時30分
場所 城北小学校体育館
●ラジオ体操
日時 7月31日(日)
午前6時30分

場所 城北小学校運動場
詳細は自治会を通じてお知らせします。(体育部会)

への作業奉仕

【環境部会】緑道公園の清掃、防災講演会、親子ハゼつり大会、防犯マップ作成の研修会、街路灯のLED化、ゴーヤ料理講習、見守り隊・防犯パトロール隊の拡充と意識改革
【保健部会】すくすくクラブ、健康教室、健康相談、料理教室、ほくほくふれあいま

を鑑賞しました。「アートの起源」、恐竜から人間に進化するまでの恐竜の写真を鑑賞しました。「人間の衣服の歴史」、木で出来ている服の写真を子どもたちに感想を聞いたら「ロボットのようだ」「着たくない」と言いました。帰りは商店街を通って帰りました。富熊保育所の幼児も鑑賞にきていました。



どんな絵があるのかな?

消防団員を募集

城北地区を担当する丸亀市

つりで血流量測定、幼稚園・保育所の行事参加
【体育部会】室内ベタンク大会、ラジオ体操、飯野山登山、ほくほくふれあいまつり運動場部門企画・運営、ソフトバレーボール大会、丸亀城ウォーキング
(紙面の都合上、すでに実施済みのものは割愛しました)

消防団第1分団(平沢秀介団長)では、団員を募集しています。募集は18歳から40歳までの男性8人。第1分団では団員35人が火災や風水害などに出動して住民の安全を守っています。また、毎年7月には2週間の強化訓練を重ねています。応募や詳細は平沢団長(090-3789-4970)へ連絡ください。平沢団長は「非常時に備えるため、一人でも多くの入団を待っています」と話しています。

土器川潮止堰放流時のサイレンに注意を

国土交通省土器川出張所は、土器川蓬萊橋上流に設置している土器川潮止堰(せき)から水が流れ出る時はサイレンで知らせることにしています。同出張所では「放流時には、堰から下流の水が一気に増えます。危険ですので河原には下りないでください」と呼びかけています。この堰は塩水の逆流を防ぐために設けられています。洪水時の水の流れをよくするため、自動で収縮して倒れる構造になっています。

23年度城北コミュニティの主な事業計画

【総務部会】地域住民対象の研修会、第15回ほくほくふれあいまつり、第12回城北明倫まつり、防災関係での連合自治会への助成

【広報部会】広報紙「ともしび」年4回発行、ホームページ

1ジ運用、CVC(中讃テレビ)データ放送送信
【文化部会】地域いきいき講座、人権標語募集、人権広報紙「こころ」発行

【福祉部会】一人暮らし老人・寝たきり高齢者の友愛訪問、障害児の激励、一人暮らし老人にほくほくふれあいまつりバザー券配布、福祉施設

学園の現場から

東中学校

校長 金丸 真明

「ようこそ東中へ。これからの3年間、『東中でよかった!』と、みんなが感じる中学校生活にしたい」…毎年、新入生を迎えて思うことです。

小学生から中学生になる時に、子どもたちは、少し大人に近づくことへの誇らしさと、新しい中学校生活への期待や不安を感じることでしよう。

今、丸亀市では、「自立と共生」をめざして小中一貫教育に取り組んでいます。東中学校群でも、小学校から中学校へのスムーズな接続をめざして、今年度から具体的な取り組みを始めました。

5月から中学校の教員2名が4小学校を訪問して、6年



小中の先生で音楽の授業をしています(城北小)

生全クラスの授業に週1回ずつ入っています。教科は英語(城東小)と音楽(城乾小・城北小・飯野小)です。まずは、

中学校の先生に親しみを感じてくれればと思っています。今後は、例えば、中学生が小学生を訪ねて6年生に中学校生活のようすを伝えたり、小学校6年生対象に部活動参観

日を設けたりするなど、子ども同士の交流も計画していく予定です。東中学校群の小中一貫教育の目標は、「あいさつ、返事、正しいことばづかいができる子どもを育てる」と、昨年度の東中学校群連携協議会で決まりました。この目標の達成に向けて、小中9年間を通して取り組んでいきます。

小中一貫教育に取り組む

ぜひ、ご家庭や地域でも、ご協力をお願いいたします。まず、気持ちのいいあいさつの声飛び交う家庭・学校・地域にしたいものです。

小中一貫教育を通して、中学校入学のハードルを少しでも低くするとともに、中学校生活で待っている数々の新しいハードルを自分で乗り越えていく力を、身に付けてくれればと願っています。

城下の光

暮らし 歳時記

7月——早くも今年の折り返し点です。このコーナでは、季節の句をちよっぴり先取りして紹介します。(K)

◆うどんの日

7月2日は半夏生(はんげしょう)。讃岐地方では「はんげ」と言われ、田植えの終期の目安とされてきました。そして、この日は「うどんの日」です。半夏生に農家でうどんを食べる習慣があることから、県生麺事業協同組合が昭和55年に制定しました。県外在住の県人にとって、「讃岐うどん」は名刺代わりです。

◆リフレッシュ

7月21日から子供たちは夏休み。家族通れで、海に山にリフレッシュするためには繰り出すことでしょう。休日の高速道路上限10000円が廃止されたので、昨年とはいささか事情が違いそうです。この際、近場を一点集中で訪ねるのはいかがでしょう。事前に知人に聞くなり、ホームページなりで情報を集めておけば、

現地での「収穫」も増えます。

◆夏祭りや盆踊り

地域の夏祭りや盆踊りにも、出掛けてみませんか。次のような祭事が予定されています。

- 富士見町夏祭り(7月30日、富士見公園)▽高木神社夏祭り(8月7日、土居町2丁目)
- ▽恵比須神社夏祭り(8月7日、北平山町2丁目)▽サマーフェスティバル(8月13、14日、御供所町公園)▽石の公園盆踊り大会(8月13、14日、土居町3丁目)



◆身近に大輪の花火

夏といえば花火。今年の娑婆羅花火は8月20日。毎年、身近で花火を見られる幸せを味わい、大輪の花火と大音響から元気をもらっています。今年はどうなる趣向の花火が上がるか楽しみです。お勧めは福島町フェリー乗り場付近からの眺め。

◆心引き締めて

9月1日は防災の日。毎年関東中心に防災訓練が行われていますが、今年も東日本大震災発生を受けて訓練も様変

わりするでしょう。

私たちが、今世紀前半にも起きるといわれる東南海・南海地震に備え、家族の間で避難場所確認、安否確認方法を熟知しておきたいものです。

◆熱中症に注意を

気象庁の発表によると、記録的な猛暑となった昨年と比べ、この夏の気温は低めだが、平年よりは暑くなる見通し。さらに残暑が厳しとの予報。緑のカーテンを生かし、熱中症対策をお忘れなく。

あとがき

東日本大震災発生から3カ月余りが過ぎましたが、被災地では今も、多くの人たちが厳しい避難生活を強いられています。放射性物質という目に見えない相手との闘いも続いています。われわれの地域でも南海地震への備えが強く求められており、防火対策や水害への対応を真剣に考える時を迎えています。

今、各地で節電と地域や家族との絆の大切さが言われています。「ともしび」の情報を活用、地域の一体化につなげてください。(宣)